

安全データシート

整理番号 【575-4】

制定日 2014/08/20

改訂日 2016/05/13

1. 製品および会社情報

製品

製品名 アルペットLS

供給者情報

会社 サラヤ株式会社

住所 大阪府大阪市東住吉区湯里2-2-8

担当部門 営業本部

電話番号 06-6797-2525

緊急時連絡番号 06-6705-1013

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

物理化学的危険性	引火性液体 区分3
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2A
	生殖細胞変異原性 区分1B
	生殖毒性 区分1A
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） 区分3（気道刺激性）
	区分3（麻酔作用）
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） 区分1（肝臓）
	区分2（中枢神経系）

GHSのラベル要素

絵表示又はシンボル：炎、感嘆符、健康有害性

注意喚起語：危険

危険有害性情報：

引火性液体及び蒸気、強い眼刺激、呼吸器への刺激のおそれ、眠気またはめまいのおそれ、遺伝性疾患のおそれ、生殖能または胎児への悪影響のおそれ、長期にわたるまたは反復ばく露による肝臓の障害、長期にわたるまたは反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ

注意書き：

【安全対策】

使用前に取扱説明書を手に入ること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。
容器を接地しアースを取ること。
防爆型の機器を使用すること。
火災を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
屋外又は換気のよい場所でのみ使用すること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急措置】

皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
皮膚を流水で洗うこと。

吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。

次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断、手当を受けること。

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断、手当を受けること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。

火災の場合：消火するために、5. 火災時の措置を参考のこと。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置くこと。施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物／容器を自治体のルールに従い廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性：可燃性液体

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分：エタノール、グリセリン脂肪酸エステル、乳酸、乳酸ナトリウム

化学名または一般名：エタノール（CAS番号64-17-5）54.1w/w%含有

4. 応急処置

吸入した場合：

直ちに患者を空気の新鮮な場所に移し、安静にする。

ひどい場合は直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚についた場合：

刺激を感じた場合は水で洗い流す。

眼に入った場合：

すぐに水またはぬるま湯で洗う。症状が重い場合には眼科医の手当を受ける。

飲み込んだ場合：

水を飲ませて、医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：

水、粉末、炭酸ガス、泡（耐アルコール泡）

火災時の特定危険有害性：

少量の水での消火は、火災を拡大させる恐れがある。

消火方法：

初期火災には大量の水を噴霧、又は上記の消火剤等による消火を行う。

大規模火災発生時は大量の水を噴霧、または泡消火剤等による空気遮断にて消火を行う。

消火を行う者の保護： 防炎耐熱性保護具、マスク等

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：

保護眼鏡、ゴム手袋等を着用し、接触および吸入を避けること。

環境に対する注意事項：

少量の場合は、こぼれた場所を速やかに大量の水で洗い流す。

大量の場合は、漏出液を密閉式の空容器にできるだけ回収し、回収できなかった場所へは大量の水で洗い流す。

二次災害の防止策：

浸透性および揮発性があるので、付近の着火源となるものは速やかに取り除く。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い：

取り扱う場合、換気を十分に行う。

火気に近づけない。

移し替える場合、専用の容器にその品名と、注意事項を明記する。

キャップを開けるときの液が飛び出す恐れがある。

また、容器を移動するときは、キャップをしっかりと閉める。

緩んでいると、液が跳ねて目や皮ふにつく恐れがある。

保管

適切な保管条件：

直射日光の当たらない温度の低いところに、密栓し保管する。
子供の手の届くところに置かない。
倒れたり、こぼれたりすることのないような場所に保管する。

8. 暴露防止措置および保護措置

設備対策：取扱いについては、火気のない換気のよい場所で行う。
管理濃度：管理濃度なし
許容濃度：設定されていない
保護具：
必要に応じて防毒マスク、保護眼鏡、ゴム手袋、ゴム前掛け、安全靴を使用する。

9. 物理的および化学的性質

外観：無色透明液体
臭い：わずかに柑橘様芳香のあるアルコール臭
pH：4.8～5.3
比重：0.909（15℃）：参考値

10. 安定性および反応性

安定性：常温においては安定である

11. 有害情報

急性毒性：分類できない
皮膚腐食性/刺激性：分類できない
眼に対する重篤な損傷/刺激性：区分2A（強い眼刺激）
呼吸器感作性/皮膚感作性：分類できない
変異原性：区分1B（遺伝性疾患のおそれ）
発がん性：分類できない
生殖毒性：区分1A（生殖能又は胎児への悪影響のおそれ）
特定標的臓器/全身毒性－単回暴露：区分3（呼吸器への刺激のおそれ、
眠気またはめまいのおそれ）
特定標的臓器/全身毒性－反復暴露：区分1（肝臓の障害）
区分2（中枢神経系の障害のおそれ）
吸引性呼吸器有害性：分類できない
催奇形性：分類できない

代謝：分類できない

労働安全衛生法

通知対象物質（No. 61）エタノール 54.1 w/w%含有

12. 環境影響情報

生態毒性：情報なし

残留性・分解性：情報なし

生体蓄積性：情報なし

土壌中の移動性：情報なし

ノニルフェノール系非イオン界面活性剤を含め、環境庁が内分泌攪乱物質（いわゆる環境ホルモン）と位置付けした 指定物質は一切配合していない。

13. 廃棄上の注意

「7. 取り扱いおよび保管上の注意」の項を参照のこと

残余廃棄物：廃棄物処理業者に処理を依頼する

使用済容器：容器を水洗いしてから、自治体のルールに従い、処理する

14. 輸送上の注意

「7. 取り扱い及び保管上の注意」の項を参照のこと

国際規制

国連分類：引火性液体（クラス3、容器等級Ⅲ）

国連番号：1170

運搬する場合には、飛散、漏洩、流出、又は浸出を防ぐのに必要な措置を講じなければならない。

15. 適応法令

労働安全衛生法（安衛法）：

施行令 別表第9 名称等を通知すべき危険物及び有害物

化学物質管理促進法（PRTTR法）：該当しない

航空法：施行規則第194条 3 引火性液体

毒物及び劇物取締法：該当しない

消防法：該当しない

医薬品医療機器等法：該当しない

食品衛生法：食品添加物

16. その他の情報

参考文献

GHS混合物判定ツール（経済産業省）

- ・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
 - ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
 - ・注意事項は通常取り扱いを対象としたものですが、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
 - ・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。
-